

【教科・学年・科目】外国語科 1年 英語表現I (全6クラス対象)

【授業者担当者】浅見道明、曾根典夫、物井真一、Bob Juppe(ALT)

【授業形態】毎週火曜日ライブ配信(動画も記録)(授業の内容についてのライティング課題の提出あり)  
毎週月曜日テキストベース(教科書中心。リスニング、ライティング課題の提出あり。)

## 【授業の紹介】

### Zoom 配信授業 (参加型による「聞くこと」と「話すこと (やり取り)」)

週に1時間、日本人英語教師とALTによるTeam TeachingをZoomでのライブ配信授業を行っている。全6クラス(およそ250人)の生徒、及びJTE3名、ALT1名が同時に参加している。

Zoom配信授業の目的は、英語の4技能のうち、主に、「聞くこと」、「話すこと」(主に「やり取り」)である。

#### ①「聞くこと」

JTEとALTによる短い会話を聞き、その会話について、英語の質問に答える。まずは、参加者全体に英語で質問し答えを考えさせる(3問)。その後、個別に指名して、英語で答えてもらう。質問は難しくはないので、しっかりと英語を聞いて理解できているかを確認する活動である。同時に、この英語による質問には、この時間で身につけたい文法事項が含まれている。これが、その後の活動に向けたインプットともなっている。

#### ②「話すこと (やり取り)」

ターゲットとなる文法を使って、生徒同士で、英語によるインタビューを行う。Breakout Sessionを利用して、生徒は5-6人の小グループになってこの活動に取り組む。その後、学年全体で、時間の許す限り、生徒を指名して、ALT、JTE、指名された生徒間で、英語によるやり取りを行う。

#### ③提出課題

授業後の課題として、ライティング(60-80語程度)を提出する。授業中に生徒間またはALTとのやり取りを通して得た情報を、自分の言葉で整理して、パラグラフでまとめて担当者にgoogle classroomを通して提出する。この課題を通して、Zoom配信授業では時間が取れない、「書くこと」を補う。また、提出された生徒の作品を後日google classroomを通してお互いに読む機会を持つことで「読むこと」を補う。

## 【最後に】

これまでのところ、毎回、250人中約9割以上の生徒が参加できている。週一回の限られた時間ではあるが、通常授業のように、生徒が出来るだけ英語を使って教師や生徒同士で意味のあるcommunicationが行える機会を提供していきたい。

#### Today's Menu

1. SHORT TALK
2. QUESTIONS
3. SHORT COMMENTS FROM THE TEACHERS
4. DICTATION
5. ACTIVITY

- ① Breakout session: Have you ...? questions in pair
- ② Have you ...? from students to Bob/JTE

**HOMEWORK:** the experiences of your group member(s)

(Zoom授業で使用したスライド)



(Zoom授業後、スタッフによる振り返り)